



喜多焚

初詣のご案内

当神社では例年通り御本社、御旅社ともに
一月一日 午前0時〜午後五時頃まで開門
いたします。また、新年のお守り、御神札など
の授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、来年一年間の無病息
災を併せて初詣にどうぞお参り下さい。

新年祈禱について

新年のご祈禱につきましては必ず年内にお
電話等でご予約下さい。飛び入りではお断り
致しております。なお、団体での新年祈禱に関
しては全て御本社で執り行っております。

また一月四日から十日にかけては、茶屋町
の御旅社ではご祈禱はお受け付け出来ません
のでご注意下さい。

御本社 〓 〇六六三六一二八八七

御旅社 〓 〇六六三七一一五八六

御神札の祀り方

基本的には、お受けになられる方が一番大
事にしたい神さまの御神札をお祀りになられ
れば結構ですが、本義に基づいてお祀りされ
るのであれば、

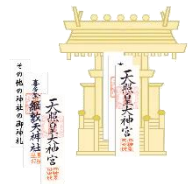
① 伊勢の神宮の御神札(神宮大麻)

② 氏神さまの御神札(梅田の場合は当宮)

③ 個人的に崇敬されているお宮の御神札
(商売繁盛であればお稲荷さんなど)
の順番でお祀りされると良いでしょう。



三社造りの神棚の場合



一社造りの神棚の場合
(神宮大麻を先頭に、
重ねてお祀りします)

御神札と御守について

新年には新しい御神札と御守を神社で受け
ますが、どちらが良いのかといったお問い合
わせを近頃よく頂きます。答えから申し上
げますと、どちらでも結構ですが、御神札はご
家族向け、御守は個人向けと捉えて頂いても
良いかと思えます。御神札は神棚を据えて、そ
こにお祀りしますので、ご家族全体を神さま
がお見守りになられるという形になり、御守
はそれぞれの身の回りのものに付ける場合が
多く、間近で神さまに見守って頂くといった
ものとなります。

ですので御神札は、地元の氏神さまのもの
を必ずお祀りし、御守も地元の神社が第一で
すが、それぞれの願いと御神徳に合ったお宮
の御守を別に受けられても良いでしょう。

ただ、どちらも神さまからお授け頂いたも
のですので、粗末な扱いをする事は厳禁です。
ほこりをかぶったままの御神札や、擦り切れ
て汚れてしまった御守などにならないよう注
意しましょう。

震災義捐金等ご報告

今年一月から三月まで当宮御旅社の社頭で
募っております、東日本震災義捐金です
が、途中、泥棒の被害で義捐金箱ごと盗まれる
という許しがたい被害もありましたが、その
後、事件に心を痛めたという方々からの匿名
のご寄付もあり、残っていた残金と併せて、九
八九〇円の義捐金が集まり、先月十八日に
被災地神社の秋の大祭である新嘗祭へのお供
えとして各神社へお送りさせて頂きました。

また震災以外にも各所で発生しました、自
然災害に対する御見舞金としてご寄付頂いた
分につきましても、ご寄付頂きました方のお
名前を日本赤十字社を通してご送金させて頂
きました事、併せてご報告させて頂きます。
皆様のご協力誠に有難うございました。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰ぎ (神主)

白江 秀知

